

鳥取県立公文書館報

第23号
(平成25年度)

鳥取県立公文書館

目 次

公文書館の概要

1 設 置 の 目 的	1
2 機 能	1
3 組 織	1
4 予 算	1
5 平成 25 年度事業計画	2
〔 公 文 書 担 当 〕	2
(1) 鳥取県文書等の管理に関する条例への対応	
(2) 整理・保存	
(3) 利用促進、普及・啓発	
〔 県 史 編 さん 室 〕	3
(1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営	
(2) 調査研究	
(3) 資料編・県史ブックレットの刊行	
(4) 普及事業	

平成 24 年度事業概要

〔 公 文 書 担 当 〕	
1 特定歴史公文書等の所蔵・収集状況	4
(1) 公文書（鳥取県公文書等の管理に関する条例第 2 条第 4 号ア）	
(2) マイクロフィルム	
(3) 刊行物（行政資料に書籍を含む。）	
(4) 古文書等	
(5) 欠落公文書等の補充	
2 保 存 ・ 管 理	6
(1) 簿冊（公文書綴）のマイクロフィルム撮影	
(2) 複製本の作成	
(3) 中性紙保存箱への装てん	
(4) 書庫の整理	
3 利 用 状 況	6
(1) 閲覧等の利用状況（一般）	
(2) 県職員の利用	
4 普 及 ・ 啓 発	7
(1) 常設展	
(2) 企画展	
(3) こちら「夏休み自由研究」協力隊	
(4) 記録資料を読む会	
(5) 鳥取短期大学講義	
5 県市町村公文書等管理連絡協議会	8
6 公文書等資料の保存と管理について講師を派遣	8
7 展 示 会 開 催 実 績	9

目 次

〔 県 史 編 さ ん 室 〕

- 1 新鳥取県史編さん委員会等の運営 11
 - (1) 委員名簿
 - (2) 会議

- 2 各 専 門 部 会 の 活 動 12
 - 1 考古部会
 - 2 古代中世部会
 - 3 近世部会
 - 4 近代部会
 - 5 現代部会
 - 6 民俗部会

- 3 刊 行 物 13
 - (1) 県史ブックレット
 - (2) その他

- 4 普 及 事 業 13
 - (1) 巡回講座
 - (2) 出前講座・依頼講演
 - (3) 県史だよりの発行
 - (4) ホームページの更新

- 5 県 史 編 さ ん 協 力 員 14
 - (1) 古文書解読
 - (2) 民具調査

公文書館の概要

1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県の公文書、その他の記録などを保存し、また、その調査・研究を行い、さらにこれらの歴史資料を広く県民の利用に供するとともに、県政に関する情報を提供し、文化の向上と開かれた県政を推進することを目的としている。

2 機能

(1) 公文書の収集、整理及び保存並びに一般利用

鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、歴史公文書等を引き継ぎ、特定歴史公文書等として整理・保存するとともに、一般利用に供している。

(2) 行政資料などの利用

行政資料・統計資料を開架方式で閲覧室に配架しており、自由に閲覧できる。

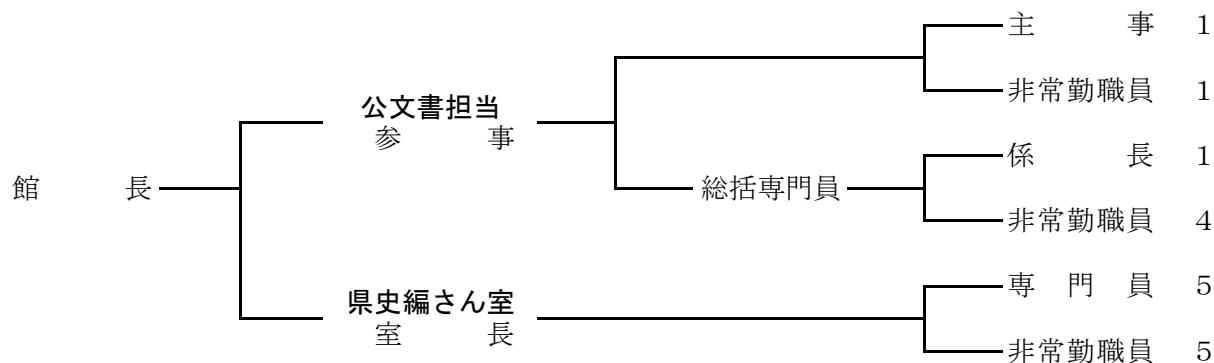
(3) 情報の提供

県の施策などの歴史的事実に関する調査研究を行い、その成果を企画展などを通じて情報提供している。

(4) 県史編さん

新鳥取県史編さんに係る調査研究及び資料集の刊行などを行っている。

3 組織（平成25年4月1日現在）



4 予算

(単位：千円)

事業名	平成25年度 当初予算額	平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額
新鳥取県史編さん事業	40,328	31,081	38,247
親しまれる公文書館推進事業	1,558	1,705	1,405
歴史資料保存事業	4,936	4,923	6,492
公文書収集利用促進費	8,098	8,104	7,973
公文書館運営費	13,443	13,460	12,014
合計	68,363	59,273	66,131

5 平成25年度事業計画

〔公文書担当〕

- (1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例への対応
 - ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後速やかに当館へ引き継ぐ。
 - イ 引き継がれた簿冊について、可能な限り早期に利用制限情報に関する審査を行う。
 - ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
 - エ 電子文書の引継・公開方法を検討・確立するとともに所蔵する公文書等や電子文書に対応した管理・検索システムを整備する。
 - オ 書庫の狭あい化に備えて、書庫スペースの確保について検討を進める。
- (2) 整理・保存
 - ア 簿冊（公文書綴）等紙資料の補修
 - イ 写真の電子化及び印画紙焼付け
利用度の高いものから順次電子化を行う。原板（ネガ等）は専用フォルダに収納するとともに、電子化されたデータを印画紙焼付け（L版）にして整理・目録化する。
 - ウ 複製本の作成
類縁機関からマイクロフィルム撮影等によって収集した資料を複製本化する。
 - エ 書庫の管理
IPM（総合的有害生物管理）を利用して管理すると共に、温湿度の管理を徹底させる。
※ IPMとは、従来のくん蒸剤による書庫及び資料管理に替えて、清掃による虫やカビの回避や、侵入ルートへの遮断等予防に重きを置く方法。
- (3) 利用促進、普及・啓発
 - ア 公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第23号を作成し、当館ホームページで公開する。
 - イ 資料保存・整理論や鳥取県成立以後の歴史に関する『鳥取県立公文書館研究紀要』第8号を刊行する。
 - ウ 常設展
一階ロビーの「展示コーナー」において、公文書館が所蔵する資料を活用して、県政140年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示する。また、調査研究の成果をタイムリーで紹介する小企画展を行う。
 - エ 企画展
 - 企画展：「昭和40年の全国植樹祭」
(会期：平成25年5月17日～6月16日)
 - 企画展：「鳥取大震災」（仮称）
(会期：平成25年8月23日～9月22日)〔予定〕
 - オ こちら「夏休み自由研究」協力隊
夏季休業中の自由研究で「鳥取県政の歴史」を研究してみようと考えている小学生、中学生を対象に、館蔵資料を提供・指導助言を行って作品作りを行わせる。（7月）
 - カ 記録資料を読む会
当館所蔵の公文書をテキストとして読みながら解説を加えていくことで、公文書の重要性を理解していただく。（3月）
 - キ 小・中・高等学校の「総合的な学習の時間」との連携事業
体験学習や地域との連携を重視する「総合的な学習の時間」をより有効に活用してもらうため、小・中・高等学校に出向き、当館所蔵資料を利用して各校の歴史や当該地域出身の偉人、県政のあゆみ等の出前講座を行う。（対応は随時）
 - ク 公文書館探検隊
公民館、高齢者、学校等の団体見学者を募集して、公文書の保存状況や常設展示の説明、館の利用方法などを説明する。（対応は随時）
 - ケ 市町村公文書等管理連絡協議会
公文書の保存に関する啓発と情報交換を行うため、市町村職員等を対象として連絡会を開催する。（10～11月）

〔県史編さん室〕

- (1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営
新鳥取県史編さん委員会及び専門部会(考古、古代中世、近世、近代、現代、民俗)を開催し、編さん事業の方針について審議する。
- (2) 調査研究
『鳥取県史』(昭和38～57年度)以後の発見や研究の発展のあった事項、また十分に取り上げられていない事項を調査研究する。
- (3) 資料編・県史ブックレットの刊行
資料編
『新鳥取県史 資料編 古代中世 古文書編』1巻刊行予定。
県史ブックレット
近世分野・現代分野・民俗分野で各1冊、計3冊刊行予定。
- (4) 普及事業
事業の成果を分かり易く提供する。
ア 出前講座等の開催
イ ホームページでの情報発信

平成24年度事業概要

〔公文書担当〕

1 特定歴史公文書等の所蔵・収集状況(平成25年3月31日現在)

- (1) 公文書(鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ア)
ア 移管等受入状況

区 分		保 存 区 分	H23年度まで	H24年度	合 計
知事部局	本 庁	30年(旧永年)	30,687	250	30,937
		10年以下(旧有期限)	11,120	591	11,711
	地方機関	30年(旧永年)	1,581	0	1,581
		10年以下(旧有期限)	1,238	66	1,304
	小 計	30年(旧永年)	32,268	250	32,518
		10年以下(旧有期限)	12,358	657	13,015
条例対象機関 (知事部局以外)	企業局	—	0	0	0
	教育委員会 (本庁)	30年(旧永年)	2,089	0	2,089
		10年以下(旧有期限)	513	31	544
	公安委員会	—	0	0	0
	警察本部	30年(旧永年)	131	0	131
	選挙管理委員会	—	0	0	0
	人事委員会	30年(旧永年)	266	0	266
		10年以下(旧有期限)	9	0	9
	監査委員	30年(旧永年)	0	16	16
		10年以下(旧有期限)	112	40	152
	労働委員会	30年(旧永年)	431	0	431
		10年以下(旧有期限)	3	0	3
	取用委員会	—	0	2	2
	海区漁業調整委員会	—	0	0	0
	内水面漁場管理委員会	—	0	0	0
	病院事業管理者	—	0	5	5
	産業技術センター	—	0	0	0
	住宅供給公社	—	0	0	0
	土地開発公社	—	0	0	0
	鳥取環境大学	—	0	0	0
小 計	30年(旧永年)	2,917	18	2,935	
	10年以下(旧有期限)	637	76	713	
県議会	30年(旧永年)	605	0	605	
合 計	30年(旧永年)	35,790	268	36,058	
	10年以下(旧有期限)	12,995	733	13,728	
			48,785	1,001	49,786

- ① 平成23年10月に成立し、平成24年4月1日に施行された「鳥取県公文書等の管理に関する条例」の設定に伴い、保存区分が見直され永年が30年となった。また、知事部局をはじめとする15機関が公文書館へ公文書を引き継ぐ機関として位置づけられた。
- ② 知事部局本庁の10年・5年保存(旧有期限)文書については、平成23年度までは「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」(H24.4.1廃止)に基づき、歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。
- ③ 知事部局地方機関については、平成7年度から全機関を対象として、知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ④ その他の機関については、教育委員会(平成8年度から)、人事委員会(平成10年度から)、労働委員会(平成10年度から)、県議会(平成10年度から)、監査委員(平成22年度から)知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施してきた。
- ⑤ 警察本部については、現行警察制度以前(明治～昭和22年)の30年(旧永年)保存文書を平成16年度に引き継いでいる。

イ 利用請求の状況（条例第13条）

区分	請求者数 (人)	請求件数 (件)	利用決定区分			不服申立 件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引継公文書（条例2条4号ア）	117	942	940	2	0	0
寄贈寄託資料（条例2条4号イ）	91	1,798	1,798	0	0	0
合計	208	2,740	2,738	2	0	0

※上記のほかに県職員の特定利用（条例第22条）が287人（649件）あり。

(2) マイクロフィルム

区 分	コ マ 数	
欠 落 公 文 書 の 補 充	県内市町村関係	63,654
	島根県関係	58,181
	福島県移住関係	12,144
	北海道移住関係	18,789
	国立公文書館	477
	学校調査関係	569,615
	その他	7,640
	計	730,500
劣 化 公 文 書	85,355	
県 史 編 纂 収 集 資 料	108,493	
合 計	924,348	

(3) 刊行物（行政資料に書籍を含む。）

ア 所蔵の状況

（単位：冊）

区分	平成23年度まで	平成24年度まで
行政資料	30,830	30,672
統計資料	32,221	30,603
合計	63,051	61,275

※内規による廃棄を実施しているため、合計数が減少。

イ 利用申込み状況

区 分	申 込 者 数	件 数
一 般 県 民	75人	152件
県 職 員	11人	37件

(4) 古文書等

県史編さん関係原文書 379点

寄贈資料 約10,000点

(5) 欠落公文書等の補充

当館所蔵公文書等の不足部分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集している。

収集したマイクロフィルムのコマ数一覧

（単位：コマ）

区 分	平成23年度まで	平成24年度	計
県内市町村関係	63,654	0	63,654
島根県関係	58,181	1,200	59,381
福島県移住関係	12,144	0	12,144
北海道移住関係	18,789	0	18,789
国立公文書館	477	0	477
学校調査関係	569,615	0	569,615
その他	7,640	0	7,640
計	730,500	1,200	731,700

2 保存・管理

- (1) 簿冊（公文書綴）のマイクロフィルム撮影
劣化の著しい簿冊の保存措置として、マイクロフィルムによる撮影を実施した。
（撮影は平成10年度で終了）

（単位：コマ）

区 分	計
撮 影 コ マ 数	85,355

- (2) 複製本の作成
利用の便を図るため、保存するマイクロフィルムを順次複製本化している。

ア 欠落公文書 （単位：コマ、冊）

区 分	平成23年度まで	平成24年度	計
コ マ 数	288,655	18,691	307,346
複 製 本 作 成 数	1,186	61	1,247

イ 劣化公文書

区 分	平成23年度まで	平成24年度	計
コ マ 数	46,218	0	46,218
複 製 本 作 成 数	226	0	226

※コマ数には、県史編纂収集マイクロフィルム分を含む。

- (3) 中性紙保存箱への装てん
簿冊（公文書綴）の劣化を防止する目的で、中性紙製の保存箱を発注して装てんしている。24年度は128冊の装てんを行った。
- (4) 書庫の整理
簿冊管理の適正化と書庫スペースの効率的活用を図るため、簿冊排架位置の確定と書庫情報の付与を行った。

3 利用状況

- (1) 閲覧等の利用状況（一般）

月別	来館者数	内 訳				
		資料・展示 閲覧のみ	相 談 ・ 案 内			写しの交付
			資料・簿冊閲覧	冊	枚	
4 月	371	280	91	32	216	184
5 月	340	251	89	37	140	90
6 月	401	352	49	7	71	309
7 月	442	377	65	17	104	19
8 月	453	393	60	19	93	71
9 月	415	363	52	17	432	120
10 月	318	249	69	20	90	50
11 月	282	234	48	9	28	10
12 月	267	220	47	14	106	203
1 月	270	227	43	14	54	18
2 月	1,084	998	86	20	1,572	9
3 月	1,659	1,558	101	80	781	1,366
平成24年度計	6,302	5,502	800	286	3,687	2,449

- (2) 県職員の利用

年 度	利用者数（人）	資料閲覧・貸出（冊）
平成24年度	685	1,888

4 普及・啓発

(1) 常設展

展示コーナーにおいて、県政140年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示した。また、当館の資料を月替わりで紹介する「今月の一点」を実施した。

〈今月の一点〉

テーマ 「東伯郡の合併による倉吉市制施行関係綴」

会期 平成24年10月1日(月)～31日(水)

〈今月の一点〉

テーマ 「昭和38年1月豪雪」

会期 平成25年1月4日(金)～31日(木)

(2) 企画展

〈企画展〉

テーマ 企画展「アーカイブズの世界ー引き継がれた記録ー」

概要 副題を「引き継がれた記録」として、明治期の県域の変遷に伴う引継書や各時代の知事引継書等をもとに、鳥取県政のあゆみを振り返った。島根県公文書センターの協力を得て、島根県庁文書を合わせて展示した。

会期 平成24年6月19日(火)～8月7日(火)

入館者 763人

テーマ 企画展「鳥取県人の北海道移住」

概要 「北海道との交流事業」(新千歳ー米子鬼太郎空港間のチャーター便運行に合わせて実施)の一環として実施した企画展で、道内の主要な移住先に関する歴史資料や写真等を元に、鳥取県人の北海道移住の概要を紹介した。

会期 平成24年8月21日(火)～9月20日(木)

入館者 599人

テーマ 北海道で企画展「鳥取県人の北海道移住」を開催

概要 「北海道との交流事業」の事業の一環とするパネル展を、札幌市(イオンモール札幌発寒店)、三笠市(イオンスーパーセンター三笠店)、釧路市(イオンモール釧路昭和店)で実施した。

会期 平成24年8月24日(金)～25日(土)

テーマ 企画展「掘り起こされた県政写真」

概要 公文書館が所蔵する鳥取県政に関わる写真と長く県政写真を撮り続けた元県職員がプライベートに撮りためた写真のうち、昭和20年代から30年代に撮影された約70点、及び写真アルバムや写真が掲載されている刊行物等を展示した。

会期 平成25年2月22日(金)～3月24日(日)

入館者 2,320人

(3) こちら「夏休み自由研究」協力隊(第5回)

夏季休業中の自由研究で「鳥取県政の歴史」を研究してみようと考えている小学生、中学生を対象に、館蔵資料を提供・指導助言を行って作品作りを行わせた。

期間 平成24年8月11日(土)・12日(日)

参加者 1名

(4) 記録資料を読む会(第2回)

公文書等を利用しての受講者参加型の講座を実施。

会期 平成25年3月14日(木)、15日(金)の計2回

参加者 のべ18名

(5) 鳥取短期大学講義

内容 教養科目「山陰論ー開けゆく山陰の近代ー」

日時 平成24年11月12日(月) 10:45～12:15

受講生 約150名

講師 伊藤 康(公文書館・総括専門員)

5 県市町村公文書等管理連絡協議会

- 目的 公文書等の管理に関する法律第34条の趣旨に基づき、県や市町村が保存する公文書等の作成・保存・利用の現状と課題について意見交換し、望ましい公文書等の管理と保存方法について県・市町村担当者が話し合うとともに、担当者間の連携を図る。
- 日時 平成24年11月1日（木）
- 場所 県立公文書館 会議室
- 内容 報告1「鳥取県の公文書管理について」 前田信彦（政策法務課・課長補佐）
報告2「歴史的公文書の評価選別・保存・利用提供について」 西村芳将（公文書館・副主幹）
- 意見交換
- 参加者 11人

6 公文書等資料の保存と管理について講師を派遣

(1) 平成24年度公文書保存研修会

- 目的 「公文書等の管理に関する法律」（公文書管理法）が平成23年4月1日に施行されたことにより、地方公共団体においても公文書等の適正な管理、保存及び利用等を図ることが求められている。
このため、地方公共団体の職員が文書管理の重要性について理解を深め、もって行政が適正かつ効率的に運営されるようにするとともに、地方公共団体の有するその諸活動を県民等に説明する責務を全うする。
- 日時 平成24年8月10日（金）
- 場所 美作県民局
- 内容 条例施行で、公文書の扱いはどうかわるのか？
- 講師 伊藤 康（公文書館・総括専門員）

(2) 平成24年度アーカイブス研修Ⅰ

- 目的 受講者に、歴史資料として重要な文書等の保存及び利用に関する基本的な事項を習得させるとともに、公文書館制度についての理解を深めさせ、公文書館法の趣旨を徹底させることにより公文書館等の職員としての資質の向上を図る。
- 日時 平成24年9月6日（木）、22日（月）、23日（火）
- 場所 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り（東京都中央区八丁堀1-9-8）
- 内容 事例報告
- 講師 西村 芳将（公文書館・副主幹）

(3) 平成24年度文書管理主任研修会

- 目的 文書審査の要点、簿冊・公印の管理、歴史資料としての公文書の取扱い等について理解を深め、公文書管理条例及びその関連規程に沿った適切な文書事務が行われるようにする。
- 日時 平成24年10月19日（金）、22日（月）、23日（火）
- 場所 鳥取県庁、中部総合事務所、西部総合事務所
- 内容 「文書事務の手引（改訂版）」データベースの利用について、公文書管理条例及び関連規程について、文書事務に関する注意事項、歴史資料としての公文書の取扱いについて
- 講師 西村 芳将（公文書館・副主幹）、野崎 喜代美（公文書館・専門評価員）

(4) 平成24年度公文書管理に係る講演会

- 目的 沖縄県及び沖縄県内市町村職員に、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関する基本事項を習得させるとともに公文書館制度についての理解を深める。
- 日時 平成24年10月26日（金）
- 場所 沖縄県公文書館講堂
- 内容 公文書管理のあるべき姿を目指して
- 講師 足田 晃（公文書館・館長）

7 展示会開催実績

年度	期 間	名 称	テ ー マ	開催場所
2	10月1日～10月31日	開館記念特別展	公文書に見る明治	公文書館
	2月18日～3月15日	行政資料展	鳥取県の国際交流	〃
3	6月11日～7月10日	県史編纂 収集資料展	最後の藩主・池田慶徳の書状	〃
	10月1日～10月31日	開館1周年 記念展	敗戦直後の公文書	〃
	2月18日～3月19日	行政資料展	鳥取県のポート	〃
4	6月9日～7月8日	県史編纂 収集資料展	「鳥府志」の挿絵展(Ⅰ) 在りし日の鳥取城と郭内	〃
	10月6日～11月5日	行政資料展	鳥取県のダム	〃
	2月8日～3月5日	公文書展	鳥取大地震の公文書記録	〃
5	10月13日～11月5日	県史編纂 収集資料展	「鳥府志」の挿絵展(Ⅱ) 在りし日の城下町鳥取と外山下	〃
	2月22日～3月18日	公文書展	島根県時代の鳥取 －鳥取県再置運動をめぐって－	〃
6	6月6日～7月1日	県史編纂 収集資料展	「鳥府志」の挿絵展(Ⅲ) 在りし日の城下町鳥取と町端	〃
	8月30日～9月12日	行政資料展	暮らしに役立つ統計資料	〃
	10月11日～10月28日	臨時展 「鳥府志」 挿絵展	都市景観の形成	〃
	3月7日～3月24日	公文書展	明治期鳥取県の町村合併	〃
7	10月1日～10月22日	開館5周年 記念展	公文書に見る1945－1954 －鳥取県の戦後改革－	公文書館
	3月4日～3月22日	公文書展	公文書に見る近代鳥取県の災害	〃
8	8月12日～9月12日	県史編纂 収集資料展	中津尾家に見る近世の大山領	〃
	2月18日～3月19日	公文書展	鳥取士族の福島県移住	〃
9	8月11日～9月12日	県史編纂 収集資料展	門脇家資料に見る 大庄屋の活動	〃
	2月17日～3月20日	公文書展	鳥取県人の北海道移住	〃
10	10月15日～10月30日	臨時展 公文書展	鳥取県人の北海道移住(Ⅱ)	〃
	3月6日～3月26日	公文書展	鳥取県 明治期の初等教育	〃
11	6月19日～7月11日	公文書展	鳥取県 明治の小学校	倉吉博物館
	9月12日～9月18日	臨時展 公文書展	明治の鳥取県	米子 コンベンションセンター
	3月4日～3月19日	公文書展	鳥取県 明治の小学校	米子市立図書館
12	8月5日～8月27日	開館10周年 記念特別展	20世紀の鳥取県	公文書館
	倉吉博物館			
	米子市立図書館			
13	12月8日～12月27日	公文書展	鳥取県大正・昭和初期の小学校	公文書館
	2月23日～3月10日			大栄町 歴史文化学習館
	3月16日～3月27日			日南町 総合文化センター
14	10月26日～11月24日	公文書展	城下町鳥取－歴史の散歩道－	公文書館
	3月8日～3月23日	公文書展	文書が語る鳥取県の歩み	倉吉博物館
	2月15日～3月5日			山陰歴史館

7 展示会開催実績

年度	期 間	名 称	テ ー マ	開催場所
15	1月10日～1月29日	公文書展	近代鳥取県の産業振興 －米・生糸・牛・鉄－	倉吉博物館
	2月3日～3月2日			公文書館
	3月6日～3月18日			米子市立図書館
16	12月4日～1月9日	公文書展	鳥取県の国民学校	公文書館
	1月14日～2月14日			山陰歴史館
17	10月8日～11月6日	公文書展	鳥取県のたたら	公文書館
	11月12日～12月18日			日南町美術館
18	8月30日～9月26日	公文書展	鳥取県の生活綴方教育 －峰地光重と後進たち－	倉吉博物館
	10月7日～11月12日			公文書館
19	5月15日～7月1日	企画展	公文書館所蔵資料による 「昭和の鳥取県」	〃
	10月13日～11月11日	公文書展	鳥取県の漁業 公文書館所蔵漁場図を中心に	〃
	11月17日～12月16日			海とくらしの史料館
20	6月12日～7月31日	企画展	アーカイブズの世界 －公文書館の仕事と資料の修復－	公文書館
	10月17日～11月23日	特別展	澤田廉三と美喜の時代	〃
	11月29日～12月21日			岩美町中央公民館
21	6月3日～7月31日	企画展	アーカイブズの世界 －残すということ－	公文書館
	10月17日～11月22日	企画展	レンズがとらえた あの頃の鳥取県	〃
	11月28日～12月20日			倉吉博物館
22	6月19日～8月1日	企画展	アーカイブズの世界 －紙とデジタルの共存－	公文書館
	11月6日～12月19日	開館20周年 記念特別展	広報写真に見る鳥取県 －戦後からわかとり国体まで－	〃
	1月14日～4月17日	小企画展	絵葉書にみる鳥取県	〃
23	4月18日～6月16日	小企画展	在りし日の鳥取	〃
	6月18日～8月7日	企画展	アーカイブズの世界 －災害を越える	〃
	8月9日～11月9日	小企画展	加嶋さんが残したカラーの鳥取	〃
	11月10日～2月16日	小企画展	歴代の鳥取県知事	〃
	2月18日～3月18日	新収蔵品展	神社絵図の世界	〃
24	6月19日～8月7日	企画展	アーカイブズの世界 －引き継がれた記録－	〃
	8月21日～9月20日	企画展	鳥取県人の北海道移住	〃
	8月24日～8月25日	企画展	鳥取県人の北海道移住	札幌市、三笠市、釧路市
	10月1日～10月31日	今月の一点	東伯郡の合併による 倉吉市制施行関係綴	公文書館
	1月4日～1月31日	今月の一点	昭和38年1月豪雪	〃
	2月22日～3月24日	企画展	掘り起こされた県政写真	〃

〔県史編さん室〕

1 新鳥取県史編さん委員会等の運営

「新鳥取県史編さん事業」の編さん方針等を審議するため、編さん委員及び各専門部会委員を委嘱し、会議を開催した。

(1) 委員名簿

平成24年度 新鳥取県史編さん委員

	氏名	現職
1	高田 健一	鳥取大学准教授
2	錦織 勤	鳥取大学教授
3	池内 敏	名古屋大学教授
4	岸本 覚	鳥取大学准教授
5	小山 富見男	鳥取敬愛高等学校校長
6	坂田 友宏	伯耆文化研究会会長
7	野川 聡	県総務部長
8	山本 仁志	県教育委員会次長

平成24年度 新鳥取県史編さん専門部会

	氏名	現職
(考古部会)		
1	高田 健一	鳥取大学地域学部准教授
2	根鈴 智津子	倉吉市教育委員会文化財課文化財係長
3	下高 瑞哉	米子市教育委員会文化課係長
4	松井 潔	県埋蔵文化財センター主幹
5	中原 斉	むきばんだ史跡公園所長
(中世部会)		
1	錦織 勤	鳥取大学地域学部教授
2	日置 条左エ門	元鳥取県史編さん室常勤専門委員
3	秋山 伸隆	県立広島大学人間文化学部教授
4	末柄 豊	東京大学史料編纂所准教授
5	倉恒 康一	観光政策課主事（兵庫県・山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局派遣）
6	石田 敏紀	県立博物館主幹学芸員
(近世部会)		
1	池内 敏	名古屋大学文学部教授
2	谷口 啓子	元県立公文書館非常勤専門員
3	山藤 良治	米子工業高等専門学校教授
4	山脇 幸人	倉吉市立図書館副館長
5	坂本 敬司	元県立公文書館県史編さん室長
6	来見田 博基	県立博物館主任学芸員
(近代部会)		
1	岸本 覚	鳥取大学地域学部准教授
2	田村 達也	元県立公文書館専門員
3	奥村 寧子	鳥取市歴史博物館学芸員
4	白石 崇人	鳥取短期大学助教
5	畔上 直樹	上越教育大学准教授
(現代部会)		
1	小山 富見男	鳥取敬愛高等学校校長
2	喜多村 理子	鳥取短期大学非常勤講師
3	佐々木 孝文	鳥取市教育委員会事務局文化財課係長
4	鬼嶋 淳	佐賀大学文化教育学部准教授
5	石田 敏紀	県立博物館主幹学芸員
6	西村 芳将	県立公文書館副主幹
(民俗部会)		
1	坂田 友宏	伯耆文化研究会会長
2	靄 理恵子	吉備国際大学社会学部准教授
3	喜多村 正	元鳥根大学法文学部教授
4	喜多村 理子	鳥取短期大学非常勤講師
5	福代 宏	県立博物館主任学芸員
6	原島 知子	県教育委員会文化財課文化財主事

(2) 会議

平成24年	5月21日	第1回近世部会（於：公文書館）
	5月31日	第1回古代中世部会（於：公文書館）
	6月13日	第1回近現代合同部会（於：公文書館）
	7月12日	第1回新鳥取県史編さん委員会（於：公文書館）
	8月26日	第1回民俗部会・民俗調査中間報告会（於：米子市旧庁舎会議室）
	9月6日	第2回古代中世部会（於：公文書館）
	9月18日	第2回近世部会（於：公文書館）
	10月1日	第1回考古部会（於：公文書館）
	10月11日	第2回近現代合同部会（於：公文書館）
	11月15日	第2回新鳥取県史編さん委員会（於：公文書館）
平成25年	3月1日	第2回民俗部会（於：公文書館）
	3月5日	民俗編生業担当者会議（於：公文書館）

2 各専門部会の活動

1 考古部会

(1) 遺物再整理

- ・ 12遺跡353点の遺物を実測。

(2) 古墳測量

- ・ 馬ノ山2号墳（東伯郡湯梨浜町橋津、全長68mの前方後円墳）・宮内狐塚古墳（東伯郡湯梨浜町宮内、全長95mの前方後円墳）の墳丘の3次元測量を業者委託で実施。

(3) 古郡家1号墳・六部山3号墳調査報告書の刊行

(4) 県外調査

- ・ 東京国立博物館が所蔵する鳥取関係遺物の調査を実施。

2 古代中世部会

(1) 史料調査

- ・ 県内外に所在する鳥取関係中世史料の原本調査・撮影。

県内：鳥取県立博物館、大江神社（八頭町）、甘露神社（岩美町）、加知弥神社（鹿野町）、庄司家（境港市）

県外：東京大学史料編纂所、前田育徳会尊経閣文庫（東京都）、金沢市立玉川図書館近世史料館、下郷共済会文庫（滋賀県）、長浜城歴史博物館（同）、栗東市歴史民俗博物館、春日神社（三重県）、三重県史編さん室、朝来市埋蔵文化財センター、豊岡市出土物管理センター、岡山県立博物館、広島大学、岩国徴古館（山口県）、藤井家（同）、島根県立古代出雲歴史博物館、島根県古代文化センター、太鼓谷稲成神社（島根県）

(2) 鳥取県関係古代中世史料翻刻文校訂事業

- ・ 資料編に掲載する活字原稿を文書写真・影写本と照合して校訂。
- ・ 調査委員5名で計730点を対象に実施。

(3) 「古記録編」活字資料集抽出事業

- ・ 既刊の日記類・記録類から因幡・伯耆および山名一族に関する記事を抽出。
- ・ 調査委員7名で約130冊を対象に実施。

(4) 県史ブックレット『古代中世の因伯の交通』（執筆：錦織勤委員）の刊行

3 近世部会

(1) 史料調査

- ・ 資料編（西伯耆編）収録候補となる主要な近世史料の調査・撮影。

県内：鳥取県立博物館、米子市立山陰歴史館、米子市淀江公民館、米子市役所淀江支所、松浦家（米子市）、境港市史編さん室、庄司家（境港市）、大山町教育研究所、大山町下市公民館、門脇家（大山町）、矢田貝家（伯耆町）、南部町落合地区有文書、長尾家（南部町）、細田家（同）、日野町公民館、日野町歴史民俗資料館、近藤家（日野町）、日南町郷土資料館、三上家（日南町）、鳥取県立公文書館（近藤家文書等）

県外：国文学研究資料館（東京都）

- ・ 資料検討会の実施（資料編掲載候補史料の選定、1回）

(2) 資料編掲載候補史料の解読・入力

(3) 「家老日記（控帳）」の解読

- ・ 県史編さん協力員と共に実施。
- ・ 解読済み230冊（うち校訂まで終わったもの186冊）、解読中42冊

4 近代部会

(1) 資料調査（現代部会と合同で実施）

- 資料編収録候補となる主要な近現代史料の調査・撮影。選定シートの作成。
県内：鳥取市気高町総合支所、倉吉市大谷地区公民館、米子市山陰歴史館、米子市成実公民館、米子市彦名公民館、境港市史編さん室、湯梨浜町長和田地区公民館、大山町役場、鳥取県立公文書館（旧多里役場文書等）
県外：国立国会図書館（東京都）、国立公文書館（同）、防衛研究所（同）、近代日本法政史料センター（同）、兵庫県立図書館
- 資料検討会の実施（資料編掲載候補史料の選定、4回）。

(2) 県史ブックレット『褒められた人びと』（執筆：岸本覚委員）の刊行

5 現代部会

(1) 資料調査（近代部会と合同で実施）

- 資料編収録候補となる主要な近現代史料の調査・撮影。選定シートの作成。
県内：鳥取市気高町総合支所、倉吉市大谷地区公民館、米子市山陰歴史館、米子市成実公民館、米子市彦名公民館、境港市史編さん室、湯梨浜町長和田地区公民館、大山町役場、鳥取県立公文書館（旧多里役場文書等）
県外：国立国会図書館（東京都）、国立公文書館（同）、防衛研究所（同）、近代日本法政史料センター（同）、兵庫県立図書館
- 資料検討会の実施（資料編掲載候補史料の選定、4回）。

(2) 県史ブックレットの作成にかかる調査

- 『鳥取県の学童疎開（仮題：H25刊行予定）』の編さんにかかる資料調査
- 神戸市立本山第二小学校で調査実施。

6 民俗部会

(1) 民俗調査

- 地域民俗調査（県西部海岸部）、テーマ別民俗調査（7テーマ）を実施。
- 調査委員18名で調査実施（延べ111日間）。

(2) 民具調査

- 日野町歴史民俗資料館の調査を週1回程度実施。
- このほか、佐治歴史民俗資料館、用瀬郷土資料館、倉吉博物館、米子市山陰歴史館、岩美町小田交流館、北栄町歴史民俗資料館、三朝町南小学校・東小学校、日野町立図書館、日野高校黒坂校舎、日南町郷土資料館の所蔵民具の調査を実施。

3 刊行物

(1) 県史ブックレット（A5判、各500円）

刊行

- 第11巻『褒められた人びと』（岸本覚委員執筆、H25. 1. 31刊行、134頁、1,500部印刷）
- 第12巻『古代中世の因伯の交通』（錦織勤委員執筆、H25. 1. 11刊行、132頁、1,500部印刷）

頒布

- 今井書店（県内7カ所）、東京アンテナショップ、琴浦町日韓友好資料館・韓国物産館（第5巻のみ）、国立ハンセン病資料館（第2巻のみ）、鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、文化の友（ブックヤードチャプター1, 2, 3）での頒布開始

(2) その他

- 調査報告書『鳥取市古郡家1号墳・六部山3号墳の研究』（H25. 3. 29刊行、135頁、600部印刷）

4 普及事業

(1) 巡回講座

期日	会場	講座名（担当者）・テーマ	参加数
6/30 (土)	倉吉 体育文化会館	「東伯耆の近世文書—『新鳥取県史資料編』から—」 (坂本敬司委員)	34
9/16 (日)	湯梨浜町立 図書館	「湯梨浜町の近世文書—『新鳥取県史資料編』から—」 (坂本敬司委員)	32

(2) 出前講座・依頼講演

期日	会場	講座名(担当者)・テーマ	参加数
5/12 (土)	米子市 文化ホール	伯耆文化研究会 5月例会 (清水) テーマ: 「日露戦争時・鳥取県域に漂着したロシア兵」	60
7/28 (土)	湯梨浜町 橋津公民館	橋津歴史塾 (湯村) テーマ: 「東郷池周辺の古代文化」	20
10/12 (金)	佐治 中央公民館	ふるさと歴史講座V (清水) テーマ: 「佐治和紙の歴史 (江戸～明治～大正～昭和～現在) について」	20
10/13 (土)	米子市 文化ホール	「もっと知りたい! 米子城」シンポジウム (岡村) テーマ: 「戦国時代の西伯耆における戦乱」	160
10/22 (月)	龍谷大学梅田 キャンパス	鳥取県・龍谷大学連携講座 (岡村) テーマ: 「戦国時代の鳥取」	35
3/9 (土)	米子市淀江 文化センター	弥生文化シンポジウム (湯村) テーマ: 「とっとり倭人伝」	300

(3) 県史だよりの発行

- ・ 記事内容 歴史・民俗に関する小記事など
- ・ 発行形態 ホームページ版と紙版 (A4判4ページ、県内図書館などへ配布)
- ・ 発行頻度 月1回

(4) ホームページの更新

- ・ 記事内容 ①巡回講座、ブックレット刊行の案内など (随時更新)
②史料調査のレポートなど (最近の活動から) (随時更新)
③県史だより (月1回更新)
- ・ 更新頻度 平成24年度 月平均4.4回

5 県史編さん協力員

(1) 古文書解読

- ・ 近世は「家老日記」、近代は「鳥取県史料」を解読し、パソコン入力したデータを提出。
- ・ 3地区ごとに毎月月例会を開催。

地区	日時	場所	協力員
東部	第1土曜日午前	県立博物館	34名
中部	第1日曜日午前	倉吉歴史民俗資料館	8名
西部	第1日曜日午後	米子市旧庁舎	13名

(2) 民具調査

- ・ 日野町歴史民俗資料館の収蔵民具の写真撮影及び名称・法量等をパソコン入力。
- ・ 月1回程度実施 (協力員8名)。

利用案内

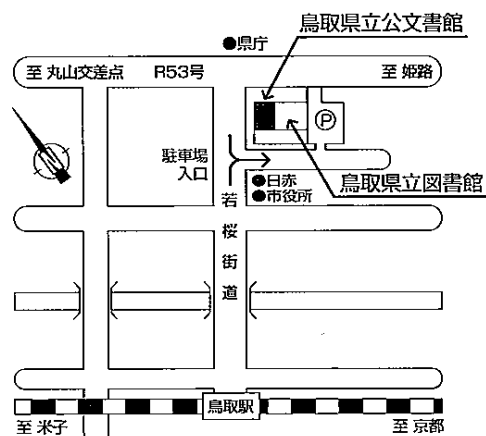
開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日にも入館できます。

案内図



徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩20分

バス 鳥取バスターミナルより
湖山・鳥大線、賀露線など
「県庁日赤前」下車徒歩1分

鳥取県立公文書館報

第23号—平成25年度—

平成25年5月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地

電話 (0857)26-8160

ファクシミリ (0857)22-3977

電子メール kobunsho@pref.tottori.jp

http://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho